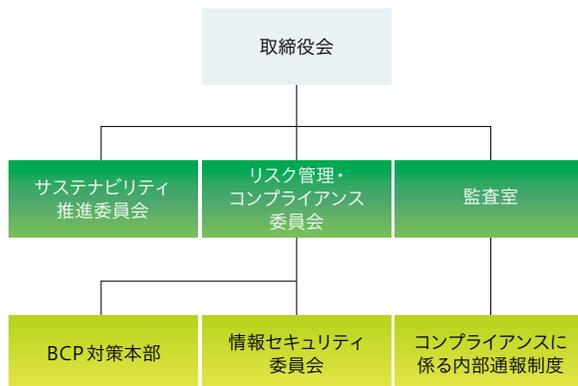


リスクマネジメント

当社は、気候変動や人的資本をはじめとするサステナビリティ課題に対応するため、代表取締役社長執行役員を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」において、リスク・機会を特定・評価しています。また、その他の大栄環境グループ全体のリスクは、代表取締役社長執行役員を委員長とする「リスク管理・コンプライアンス委員会」において、特定・評価しています。各委員会は、統一の判断基準に基づいて重要度を決定するとともに、法令・規制などの外部環境の変化に応じてリスク項目などの追加変更や重要度の見直しを行っています。各委員会で重要度が高いと判断したリスクについては、取締役会に付議・報告することで、大栄環境グループ全体のリスクを統合的に管理しています。

リスク管理体制図



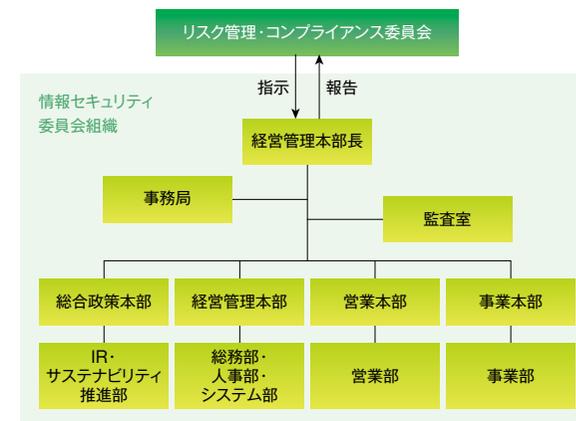
情報セキュリティ対策

大栄環境グループでは、全役職員の行動規範である「大栄環境グループ・ビジネス・コンダクト・ガイドライン」において、「情報管理の徹底」を重要方針の一つとして定め、グループ全体で周知徹底しています。また、「秘密情報管理規程」「個人情報保護規程」「電子情報セキュリティ実施細則」などの社内規程を整備・運用し、情報セキュリティ体制の基盤を構築しています。

情報セキュリティ委員会の設置

2025年4月1日には、増大するセキュリティリスクへの対応力を高めるため、「情報セキュリティ委員会」を新たに設置しました。委員会では、以下の目的と期待成果のもと、全社的な取り組みを推進しています。

情報セキュリティ体制図



政策保有株式、コンプライアンス教育、税務、事業継続計画(BCP)
<https://www.dinsgr.co.jp/csr/governance/>

目的	<ul style="list-style-type: none"> 増大するセキュリティリスクに対処し、当社の情報資産を守る 全従業員のセキュリティ意識向上と体制強化
期待成果	<ul style="list-style-type: none"> 情報漏洩やサイバー攻撃の未然防止 問題発生時の迅速な対応体制の構築 情報セキュリティポリシーの策定・運用
中期的な取り組み (2026年3月期～2028年3月期)	<p>情報セキュリティ体制をさらに高度化するため、以下の重点施策を計画的に実施していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報資産の洗い出し、リスクの抽出・特定・対応 セキュリティ事故対策 セキュリティ教育(新人教育、体験型教育) セキュリティ事故訓練
情報リテラシーの向上に向けたKPI (2028年3月期まで)	<ul style="list-style-type: none"> 社内セキュリティ教育の受講率 95%以上/年 標的型メール訓練実施回数 年2回 情報セキュリティ委員会の開催数 年4回